

山寺ふるさと便り =第17号=

宝珠のしずく

題字 後藤仁田(性相院)

発行所 やまでら館

〒999-3301 山形市山寺517-1
TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会
編集 宝珠のしずく編集委員会

山寺小中学校のボランティア活動 ヴァイオレット・リチャードソン賞受賞



空き缶回収



ボトルキャップ回収



地域清掃奉仕



外国人への
観光ガイド

二年十二月十日
ソロプロチミスト山形
平吹美和子



賞状

ヴァイオレット・リチャードソン賞
山形市立山寺中学校 生徒会

渡邊 未来様

あなたは生徒会活動で地域のボランティア活動に於いてリーダーシップを発揮し良くその目的を達成されましたその活動は他の青少年の模範となるものでここにその功績を讃えクラブ賞を贈ります

山寺小中学校の児童・生徒は、ボランティア活動を長年継続して行っている。地域清掃、ボトルキャップ・空き缶の回収活動、観光案内等。特に、中学生がやっている外国人観光客への宝珠山立石寺境内の英語でのガイドは、約10年にわたって継続▼前生徒会副会長渡邊未来さんは、取り組んできた「ボランティア活動」体験の様子を論文にまとめ、国際ソロプチミスト山形のヴァイオレット・リチャードソン賞に応募、大変評価され、12月11日、賞の贈呈式が山寺小中学校で行われた▼国際ソロプチミスト山形・平吹会長から賞状を授与された渡邊未来さんは、「生徒の代表として受け取った。山寺小中学校の児童生徒一人一人の努力が讃えられ、山寺小中学校が受賞したと思う。これからも精いっぱい尽くしたい」と感謝した。

☆国際ソロプチミストとは、管理職、専門職に就いている女性の世界的組織。人権と女性の地位を高めるため、さまざまな奉仕活動を展開している。国連の経済社会理事会の総合諮問資格を持つ数少ないNGO(非政府組織)である。

☆ヴァイオレット・リチャードソン賞は、行動する女性としてボランティア活動へ生涯にわたり献身的に取り組まれた最初のソロプチミスト会長の名に敬意を表して設置され、初代会長の名にちなんで賞。地域や世界をより良くしようとボランティア活動を行っている若い女性(14歳〜17歳)を称え、贈られる賞である。



徒は、登校班毎に、千手院観音堂前、宝珠山五
館駐車場、学校、やまでら館の5

平成24年5月21日、全国各地で半世紀に一度といわれる金環日食が観測できた。山寺地区でも金環日食に近い部分日食(92%が欠ける)を観察しようと、路上や家の前で観測用遮光ガラスを空にかざす姿が数多く見られた▼山寺小中学校の児童・生

日食観測in山寺

「太陽、細くなったぞ」

山寺小中学校の地域・体験学習



か所に集合。天体のショー「部分日食」の観察を楽しんだ。▼山寺で見られた日食は、午前6時24分頃から太陽が欠け始め、最も欠けたのが午前7時40分頃、午前9時8分頃には終了した。▼遮光ガラスを覗き、オレンジ色に輝く太陽に子どもたちは、「きれいな、欠けてる」、「暗くなってきたぞ」、「欠けてる」、「太陽が月みたい」、「あつ、太陽が帽子みたいに空に浮かんでる」と、歓声▼山寺小中学校の日食観測は、新聞社4社、テレビの報道取材を受けた。



暗くなったぞ

カエルも泣き止み参加

〈子どもへの課題〉

ミッション①

根本中堂から山寺霊園に向かいます。
秋の七草の【萩】の写真を撮りなさい。

ミッション②

山寺霊園から峯の浦に向かいます。
5の立て看板の上にある石碑に祀られているのは誰ですか。

ミッション③

峯の浦遺跡に向かいます。
みずひき草とつりふね草を捜しての写真を撮りなさい。

ミッション④

修験場跡です。
何をしたところですか。

ミッション⑤

峯の浦遺跡から城岩七岩に向かいます。
城岩七岩を全て書きなさい。

ミッション⑥

垂水霊場に向かいます。
修行した人は誰ですか。名前と尊称を書きなさい。

ミッション⑦

千手院観音に向かいます。
中に入ってお参りしてから「十二天将」の一人の名前とどんな力を持っているのかを書きなさい。

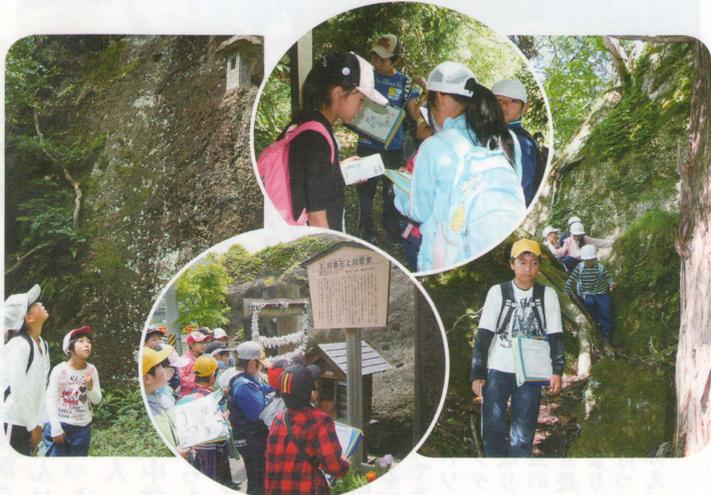
ミッション⑧

千手院観音堂の鳥居です。
一人一人一つだけ願をかけましょう。

「つかれた! 楽しかった」

東北自然歩道「やまでら天台のみち」探訪

山寺小中学校では、長年、「地域・体験学習」に力を入れてきている▼郷土「山寺」の自然・歴史・文化行事の体験学習を春、秋二回実施し、《山寺が大好きな山寺っ子を育てよう》と願ってきている▼昨年は秋晴れの中、1年〜5年混成班で「やまでら天台のみち」(根本中堂〜峯の浦〜修験場〜城岩七岩〜垂水霊場〜千手院観音堂の区間)を探索▼子どもたち「山寺ってすごいところなんだ」。



千手院地区の テレビ難視世帯解消

所部・千手院三叉路付近の民有地に設置された親アンテナ



千手院地区に、平成23年7月の地上デジタル放送切換えに伴い、テレビの難視が発生。さっそく、千手院町内会は、テレビ難視地区指定を受け、対策を協議した。

難視解消希望を募ったところ、何と26世帯(町内会全世帯のほぼ半数)が応募。「千手院地区テレビ共同受信施設組合」を設立。国(総務省)、山形市、NHK、民放各社から助成金及び事業協力を受け、受信状況調査(千手院地区内七箇所)を実施。

最適受信地点に親アンテナを設置し組合員宅とケーブルを張りめぐらす工事実施。お蔭で、千手院地区のテレビ難視は平成24年12月に解消した。

大石沢流水 立谷川へ

灌漑用水として立谷川から取水し荒谷地区を経由後、天童高楯地区へ流れている堰は冬季になると大雪や凍結により氾濫することがあった。

この原因の一つが、大雨などで途中の大石沢から流れ出る水量が加わることであった。そこで、大石沢の水量を調整する工事が、産橋(地藏堂と宮崎間の橋)の所で行われ、平成25年3月末完成予定。

大石沢の流水が高楯堰の水路の下を流れ、立谷川に合流するようになる。



山寺芭蕉記念館市民企画展 「シシ踊り展」で 由来や見どころ解説

山形シシ踊りネットワーク主催

平成24年12月20日から平成25年1月21日の期間、山寺芭蕉記念館で、本邦初企画「シシ踊り展」が開催された。

シシ踊りの由来、シシ頭、衣装写真パネル等を展示し、シシ踊りの見どころを解説。今は見ることでできない村山地方のシシ踊りの元祖「妙見寺シシ踊り」関係の貴重な資料の数々。村山地方のシシ踊りの由来を語る興味深い展示であった。



※山形シシ踊りネットワーク

シシ踊り保存団体等を連携し、伝統芸能「シシ踊り」を継承・発展させるための課題を解決していこうという目的で結成された団体。

山寺地区振興会活動報告 町内会からの要望の 実現に向けて活動

振興会は、各町内会からの要望事項を踏まえ活動した。日常生活の安全・安心、利便の確保を重視しながら、左記の事案に取組んだ。

★宮崎・芦沢丁字路の注意喚起標示。通学、冬期間の歩道確保、歩道除雪に配慮した追分交差点から芭蕉橋間の歩道の部分改幅修修のための測量実施。

★交通便利性向上の中嶋所部間の道路改修、五郎平芦沢間林道拡幅整備、半戸橋架換え等が進む。★山寺の伝統行事である地区新年顔合わせ、敬老会、文化祭、戦没者慰霊祭等の継続。

★平成25年4月27日から5月31日間の御開帳の諸事業の準備活動。★山形市北部地区との連携活動では、山形市北部開発協議会が山寺と身近な宮城県との広域流通事業に、

二口林道の再開発(トンネル化)を最重点事項に掲げ、市・県へ要望。



「健康で生きていく期間を健康長寿と言いますが、年をとれば老化が進みます。これらの老化現象を受け入れながら、元気で楽しく生活するにはどうしたらいいのか？」と。講師は糖尿病の第一人者、菊地正邦先生。参加者は30名。様々なデータをもとに、ユーモアを交えた話の会場が沸き返る一時だった。

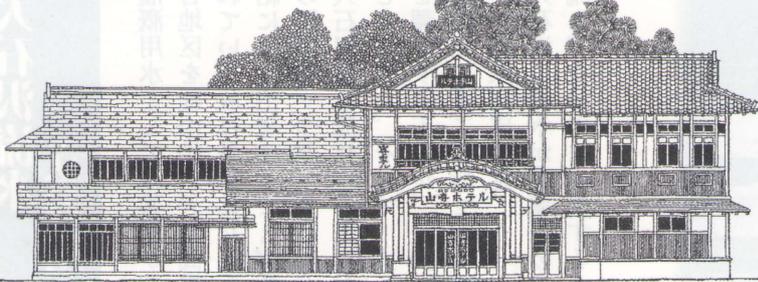
「健康で生きていく期間を健康長寿と言いますが、年をとれば老化が進みます。これらの老化現象を受け入れながら、元気で楽しく生活するにはどうしたらいいのか？」と。講師は糖尿病の第一人者、菊地正邦先生。参加者は30名。様々なデータをもとに、ユーモアを交えた話の会場が沸き返る一時だった。

山川草木悉皆成仏

立石寺住職 清原 正田

わたしたちの身のまわりのもの全部が、ほとけ様になると、法華經に書かれています。でも、それが見えませんか。なぜかと言うと、私たちの心が曇っているからです。目を清らかにし、耳を清らかにし、心を清らかにすると、ほとけ様が見えて来ます。そうすると、たくさんのおぼとけ様にかこまれた、今いるところが、極楽になるのです。

〈山寺の景観を担う〉



結城泰作デザインの山寺ホテル



左のようなレトロ館原画を展示している山寺ホテル

表彰・受賞

- 山形市花壇コンクール最優秀賞
- 山寺地区振興会（追分花壇）
- 河北文化賞受賞
- 山寺文化保存会

全国大会出場

- 全国小学校ハンドボール大会（京都府）
- 山寺小六年 森谷 真大（宮崎）
- 四年 森谷 海威（宮崎）
- 全国卓球ホープス大会団体戦（東京都）
- 山寺小二年 遠藤 海翔（川原町）
- 少林寺拳法全国大会団体戦（神奈川県）
- 山寺小四年 後藤 翼斗（馬形）

ミニ情報 耳よりな話

・山寺 日枝の神々

出版 伊澤貞一著
「山寺に関係した記録を残す、後からの人の勉強の足しにしたい、ただこの一点の仕事である」と。

・東北観光博開催中

東北全部が博覧会場、ココロに効く、カラダに効く「時速4km〇〇の旅」をしよう!! 山寺観光案内所も旅の駅としてお客様をお迎え。

平成二十四年の物故者

謹んでお悔やみ
申し上げます

- 〈千手院〉
 - 後藤安之助殿
 - 後藤 正雄殿
 - 佐々木清子殿
 - 〈所部〉
 - 武田 きみ殿
 - 〈馬形〉
 - 後藤 わか殿
 - 佐藤 稔殿
 - 〈南院〉
 - 矢萩トメヨ殿
 - 鎌水 春代殿
 - 遠藤 正悦殿
 - 〈川原町〉
 - 笹原 成男殿
 - 〈芦沢〉
 - 堀川 安治殿
 - 滝口 達司殿
 - 山田 廣美殿
 - 〈宮崎〉
 - 布施 せよ殿
 - 布施 富子殿
 - 〈地藏堂〉
 - 武田 誠殿
 - 矢萩のぶ殿
 - 〈中地蔵〉
 - 堀川さだよ殿
 - 後藤 せい殿
 - 後藤 ちを殿
- ・後藤 文子殿
 - ・佐々木太四郎殿
 - ・増子孝太郎殿
 - ・小笠原とみ殿
 - ・小野 匡義殿
 - ・小野 コウ殿
 - ・岩崎 正子殿
 - ・中山 脩殿
 - ・柏倉 茂勝殿
 - ・布施 弘子殿
 - ・矢萩きみの殿
 - ・成山 菊松殿
 - ・武田 忠内殿

話題の人

柏倉恵子さん(音沢)

昭和十九年四月十六日生

山寺大好き

音楽大好き



山寺に嫁いで四十年、▼お店の切り盛りの傍ら、山寺女声合唱団「ふうが」(平成4年べにばな国体の年に結成)の団長を務めて二十年▼団員の皆さんの優しい心に支えられ、「音楽大好き、山寺大好き、楽しくやっています」と、笑顔がはじける▼合唱団「ふうが」は県社会音楽祭、山形市女声合唱祭に参加、受賞も。サニーヒル山寺「夏祭り」、県立病院「院内コンサート」、山寺地区の行事等にボランティア演奏で参加し、ハーモニを響かせ、心を和ませてきている▼今年3月24日に「ふうが」結成二十周年記念コンサートを「山寺風雅の国」で開催、演奏練習に力が入る。「多くの方々に歌声を届けたい」と願い、団員は毎週月曜日夜七時過ぎから練習に励んでいる。

行在所修復工事終わる

立石寺境内山頂売店の左に明治天皇の東宮(皇太子殿下)の行啓記念殿(行在所)が建っている。これが築100年以上も経っていることから、関係各位の熱意によりこのたび立派に修復された。

これまででは、近在の4市町村が管理運営を担ってきたが、これからは立石寺と「記念殿維持管理支援会」が協力してあたる。

座敷からの奥山寺眺望



修復完成見学

お誕生 おめでとう

平成二十三年生まれ



〈所部〉

・渡部 誠氏長男
・楓人 さん

平成二十四年生まれ



〈馬形〉

・菅野智博氏長女
・心音 さん



〈南院〉

・浅沼正一氏二男
・大夢 さん



〈南院〉

・遠藤靖彦氏長男
・優太郎 さん



〈音沢〉

・原田大樹氏長女
・唯杏 さん



〈宮崎〉

・矢萩一春氏長女
・彩夏 さん



〈中地蔵〉

・布施優太郎氏長女
・友希 さん

おめでとう

金婚さん

佐藤 英一
みよ夫妻(馬形)

布施 千代治
義子夫妻(宮崎)



宮崎T字路がカラー舗装に!



今までカーブで見通しが悪く事故も多かった。通学路の安全対策として「二色のカラー舗装と転落防止ポール」が十一月に完成した。

御開帳に向けて準備着々

稚児、めんこい！ 一二〇名の稚児行列



〈50年前の記念写真〉

来る平成25年4月27日(土)、根本中堂本尊薬師如来御開帳の初日、山寺芭蕉記念館から根本中堂まで稚児行列が行われる。山寺に縁のある方々の子どもさんたちの参加で。当日は、冠・上衣・袴の衣装で着飾った一二〇余名の稚児のきらびやかな行列が厳かで、めんこい御祝いの世界をくり広げてくれることだろう。

「50年に一度だもの、家族、親戚の思い出。お薬師様との御縁をと願って、慶んでおります」との声。

願いを込め 折鶴を奉納

御本尊薬師如来は衆生の願いをかなえてくださる御仏。山寺にお住まいの方に、山寺にいらした観光客に「あなたの願いを書き、鶴を折ってください」と、お願いし、折鶴は二万数千羽に。観光客の老若男女が、願い事をしたため、鶴を折る微笑ましい姿がそここのお店等で見かけられた。この折鶴の御縁が、御本尊薬師如来本願の平和な世界を創り出すことに繋が



「吊し鶴」の製作に励む
山寺観光協会婦人部
〈安部英子先生の指導で〉



薬師如来に 御詠歌の奉納を



第1回御詠歌練習 (やまであら館)

御開帳初日法会で厳かな伝統ある宗教音楽御詠歌を奉唱したい。御詠歌の詠唱が山寺地区内では稀になって来ている。それでも、何とか御詠歌の奉唱を。募集してみたら、何と五〇余名の賛同者に。

これで、「御詠歌」を宝珠山立石寺境内に木魂させることができる。稚児行列、祈願折鶴奉納、御詠歌奉唱と、山寺地区内外の方々の願いが、御本尊薬師如来へとどきますようにとの準備が整った。御縁の絆で固く結びました御開帳になるよう精進しましょう。

民俗芸能の持つ 力を強調!!



25年1月12日、やまであら館で日本芸能学会会長の三隅治雄氏と東北文教大教授の菊地和博先生の民俗芸能講演と新春対談が開催された。講演と対談のあい間に東根市長瀬地区の小学生による「長瀬七階節踊り」が披露され、有意義な一日でした。

編集後記

これまで編集委員としてご活躍いただいた武田誠さん、田中文字さん、遠藤正悦さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

来年度は4月より記念すべき「根本中堂薬師如来」の御開帳を迎えることとなります。いろいろなイベントが予定されていて、とても賑やかになることでしょう。「しずく」の取材にたくさんの方々からご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

編集委員

新関 孝夫 布施 晶嗣
笹原 永吉 後藤 久
石川 進一 遠藤まき子